

(家庭数配布)



「ありがとう」「ごめんなさい」の言葉

人に何かをしてもらった時、感謝の気持ちを込めて「ありがとう」と言います。また、人に何かいけないことをしてしまった時には「ごめんなさい」の言葉でお詫の気持ちを伝えます。

(これは私見ですが) 友だちとのトラブルが多い子に共通することとして、「ありがとう」と「ごめんなさい」の言葉が素直に出てこないというのがあります。なぜ出てこないのでしょうか？(これも私の推測ですが)「ありがとう」「ごめんなさい」を言うことで、力関係が相手より下になるとでも思っているのでしょうか？確かに「ありがとう」「ごめんなさい」を言う時は、頭を下げることも多いです。でも、だからと言って、その後もずっと頭を下げ続けなければならない理由はありません。事が終わればそれで終わりのはずですが、この2つの言葉がなかなか出てこないのです。この2つの言葉が素直に出せれば、友だちとのコミュニケーションも円滑になると思うのですが。(皆さんはどう思われますか?)



ジョギングタイムについて

先日、保護者の皆様と子どもたち向けにジョギングタイムの資料を配布致しました。早速翌日より、参加票を提出していただいております。ジョギングタイムへのご理解ご協力、感謝申し上げます。このジョギングタイムについて、以下の通り、もう少し説明を加えておきたいと思っております。



- ・参加票を提出したからと、毎回のジョギングタイムに必ず参加しなければならないわけではありません。「今日は友だちと遊びたいから休む。」もありです。(適度に)友だちと遊ぶのも大切な学習ですし、何より走る事が嫌いになってほしくありませんから。ただし、参加不参加については、お子様との確認を必ずその日ごとに行っておいてください。

- ・週1回程度の実施を考えておりますが、曜日は固定致しません。習い事などはたいい曜日が決まっているため、もし曜日を固定してしまうと、参加したくても参加できない子どもたちが出てしまうからです。月～金曜日まで偏りなく実施して、できるだけ多くの子どもたちに参加してもらいたいと思っております。

- ・子どもたちにも主旨をしっかりと理解してもらった上で実施するために、事前に参加票を提出した子どもたちを集めて休み時間に説明会を行う予定です。そこで、ジョギングタイムの主旨、参加のしかた等を説明し、もし質問があれば受けたいと思っています。

※この説明会には「参加票は出していないけど、話を聞いてみよう。」と思っている子どもも参加可能とします。その上で「やってみよう！」と思ってくれたら嬉しいです。

以上です。もしまだ疑問の点があれば、遠慮なく中森までお問い合わせください。

興味を持つことはとても大切です。

夏休みの間に子どもたちが一生懸命に取り組んだ自由研究。今、教室や廊下に並べられています。見てみるとテーマは様々です。「へ～、そうなの。」とあらためて子どもたちから教えられることも多いです。友だちと相談したのか、おうちの方と相談したのか、あるいは1人で決めたのかはわかりませんが、何らかの興味を持って取り組んだのだろうことは推測できます。



イラストはイメージです。

子どもたちが興味を持つことは様々です。我々大人からすると、「そんなことを一生懸命やっとうるの？」と思うことも、中にはあるかもしれません。しかし、興味を持ったことを突き詰めていくうちに、実は後々に残る大きな発明や発見に結びつくこともあるのです。例えばライトきょうだい(ライトキョウダイ)がそうです。ライトきょうだいは「何とか空を飛ばないか。」と研究を始めました。ところが周りの人たちからは「あのきょうだい、ちょっとおかしいんじゃないか？」と思われていたようです。しかし、もしライトきょうだいが飛行機を発明していなかったら、今の世界はありません。遠く離れた国まで数時間で行けてしまうということは考えられないこととなります。

とても大きな話になってしまいましたが…、私が何を言いたいか、それは子どもたちが興味を持って一生懸命にやっていることは、大人が精いっぱい応援してあげましょうということです。そこから学ぶことも多いはずですから。私自身の経験でいうと、私は大学生の頃、勉強には一切手をつけずスポーツに熱中していましたが、両親は全く何も言いませんでした。「一生懸命にやっていることがあればそれでいい。」でした。(ただ、勉強をあまりにもホッタラカシにしてしまったため、その後、紆余曲折の数年間を過ごすことになってしまいましたが。(￣▽￣;)ハハハ)

最後にまとめ！

「大人は子どもたちが興味を持ったことを応援してあげましょう！」

「子どもたちも何か熱中することを見つけましょう！」